

ぶんりゅう I 型

雨水分流除塵器

取扱い説明書

【1】 施工手順

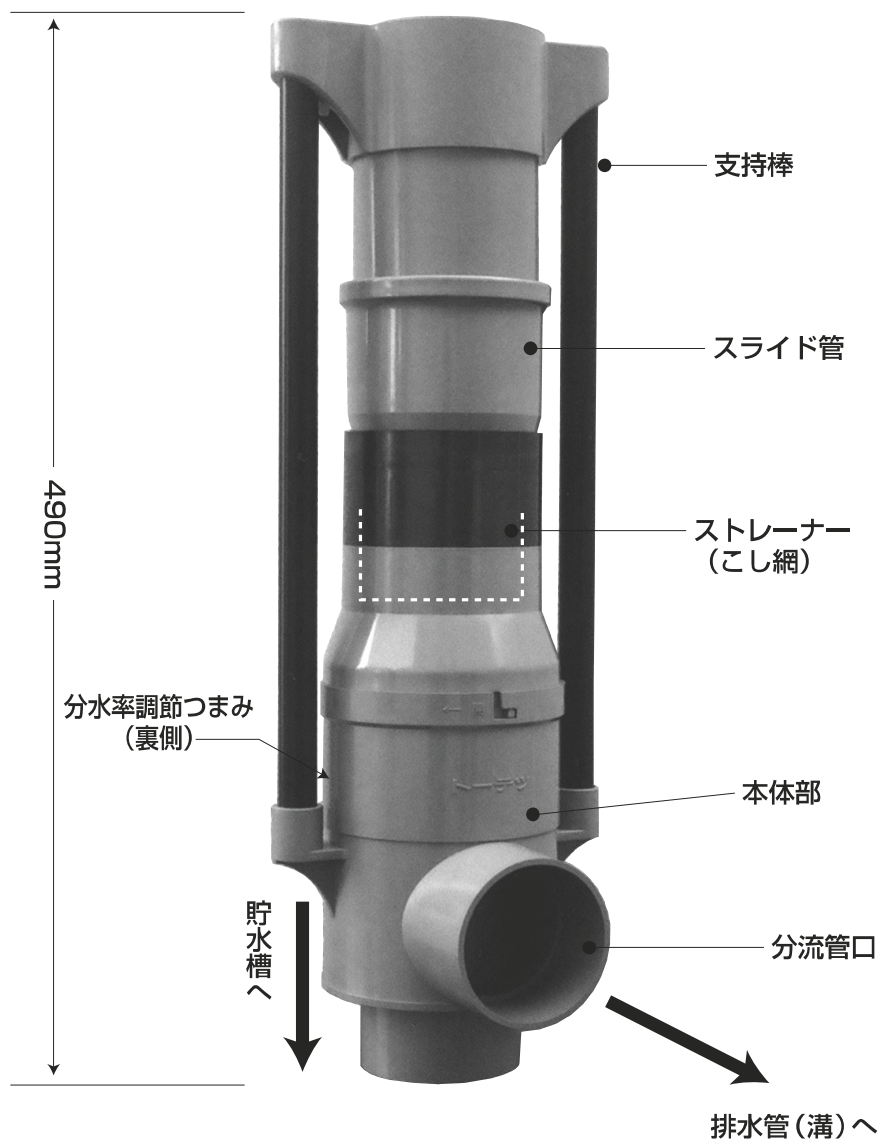
【2】 施工上の留意点

【3】 維持管理の方法



株式会社 トーテツプラス
TOTETSU-PLUS CO., LTD.

各 部 名 称



【1】施 工 方 法

ぶんりゅう I 型は設置するタンクよりも必ず高い位置に取付てください。

- ①雨水タンクの上面に設置
- ②縦樋の途中に設置

(1) 雨水タンクの上面に設置する場合

※タンク上面の平坦な面に設置してください。

- ① ぶんりゅう I 型を取付けるタンクの上面板が厚くてしっかりしている場合は、そこにホルソーで孔を開けて(65A)パッキン等に対応し、本体の下端を直接差し込みます。

上面板が薄く不安定な場合は孔を開けた上でその上に塩ビ製のフランジを取付けぶんりゅう I 型の下端を差し込んで設置します。(図1)



図1

- ② 縦樋とぶんりゅう I 型を接続して下さい。

右に示している図は一例です。

(図2 ここでは傾斜角45°
の場合を図示)

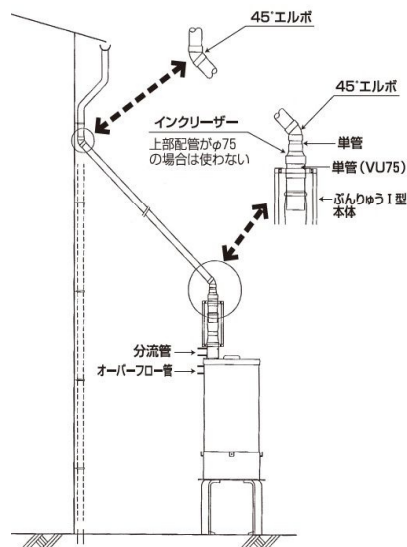


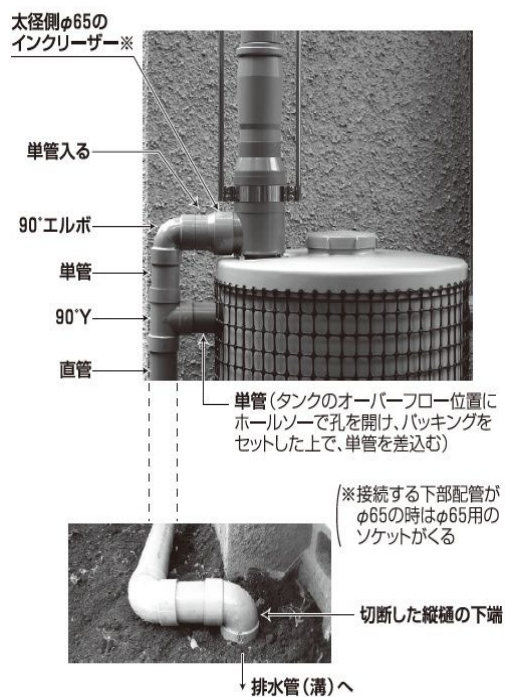
図2

図3

- ③ ぶんりゅう I 型本体から出る
分流通とオーバーフロー管を
配管します。

いくつかの方法がありますが
ここでは最も一般的な方法と
して分流通とオーバーフロー
管を合流させて排水管（溝）
へ導く方法を右に紹介してい
ます。（図3）

- ※ 分流通からの排水は大量では
ないため地表面にそのまま排出
させ、オーバーフローからの雨
水のみ排水管へ導く方法もあり
ます。



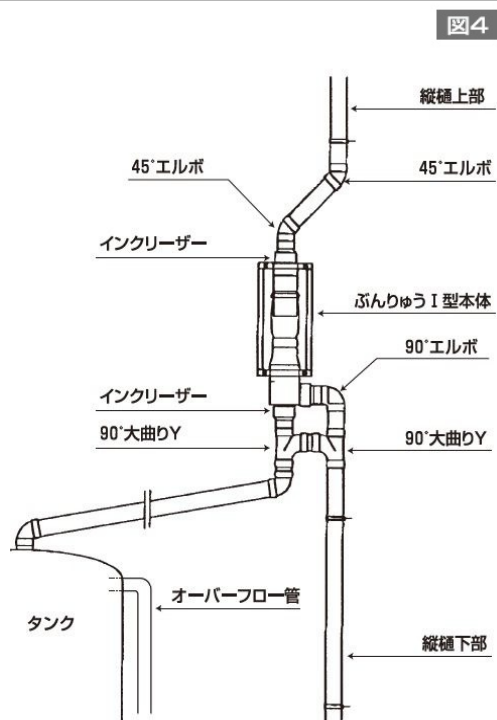
(2) 縦樋の途中に取付ける場合

雨水タンクの上部に平坦な面がない場合や建物から離れたタンクに送水して貯水する場合、地下貯水槽へ雨水を流入させる場合などは縦樋の途中にぶんりゅう I 型を取付けて、パイプ連結してタンクへ雨水を導きます。(図4)

① タンクの設置場所が決まったら、その上面あるいは側面上部の適当な個所を選んでホルソーで孔を開け、流入口を決めます。

② このタンクの流入口とぶんりゅう I 型の配管をしますが、縦樋に取付けるぶんりゅう I 型はメンテナンスの都合上、できるだけ低い位置に設置することをおすすめします。

③ ぶんりゅう I 型の取付けは下から順番に行ってください。各継手の間は単管に接着剤をつけて接合しますが、最初にいちど全体を組み上げて安定性やバランスなどを確認した上で接着します。



※ 縦樋の途中に取付けたぶんりゅう I 型から離れたタンクに自然の水圧で送水して貯留することもできます。(図5)

ただし、必ずタンクの位置よりも上方に設置していただく必要がでてきますので取付位置が高くなりメンテナンスが不便になります。

※ 通常、タンクにはオーバーフロー管を設けるのが原則ですが縦樋にタンクを近接して設置するような場合はタンク内の満水面とぶんりゅう I 型のオーバーフローの位置を合わせることににより、タンク側のオーバーフロー管の設置を省略することもできます。(図6)

図5

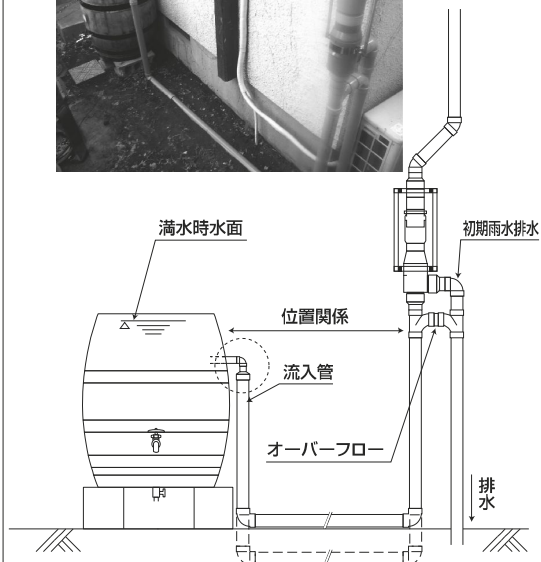
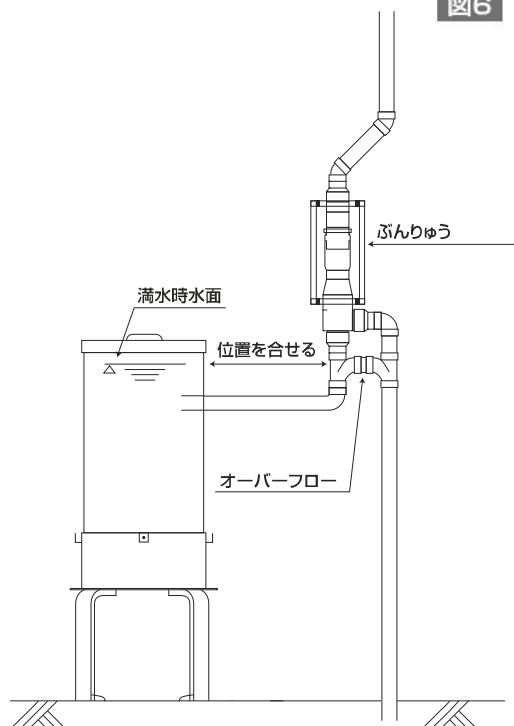


図6



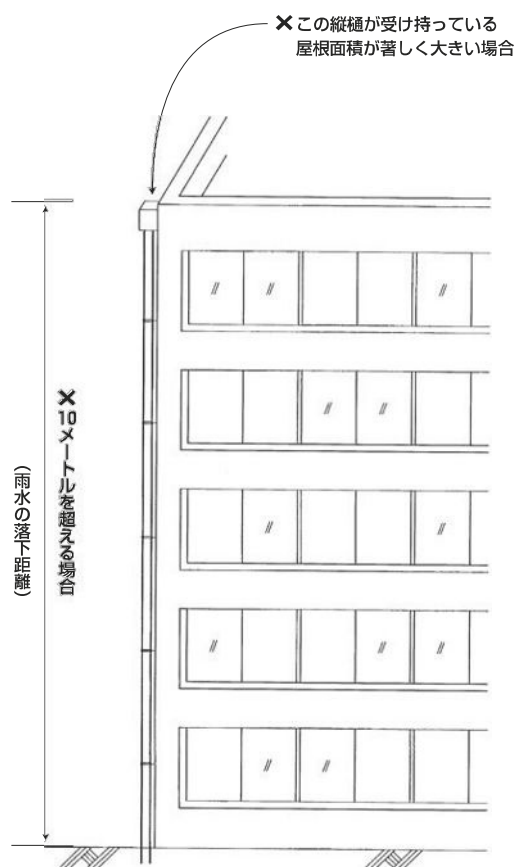
【2】施工上の留意事項

「ぶんりゅうⅠ型」の使用や施工に際しては、次のことに留意して、正しく安全な設置を心がけてください。

- ① ぶんりゅうⅠ型が適合する縦樋の最大直径は、一般的にφ75までです。φ75であっても、この縦樋が受け持っている屋根面積が著しく大きい場合、屋根（屋上）からの落下距離が10mを超えるような場合は使用しないで下さい。（図7）

- ② ぶんりゅうⅠ型～雨水タンクに至る配管は、Ⅰ型本体から出る分流管がオーバーフローの役割を果たすこともあり、下流側の管径を小さくしても（絞っても）通常では問題ありません。ただし 図5、図6に示すようにタンク自体にオーバーフローを取らない場合や、タンク自体のオーバーフローの管径が著しく小さい場合は、分流管側の管径を十分にとり、豪雨時に必要なオーバーフローの流量を確保してください。

図7



【3】維持管理の方法

(1) ストレーナーの掃除

通常 1 ～ 2 カ月に 1 回程度、ストレーナーに溜まるゴミを除去してください。

スライド管を上げてストレーナーを取外し、中にたまっているゴミを捨てて元に戻します。（図8）



図8

(2) 分解点検

通常はストレーナーの掃除以外の内部清掃等はありません。
万が一分解点検するような場合は下図を参考にしてくださいと共に弊社に
お問合せください。

分解にあたっては、2 箇所位置決めのための嵌合部があることにご留意ください。

（図9）

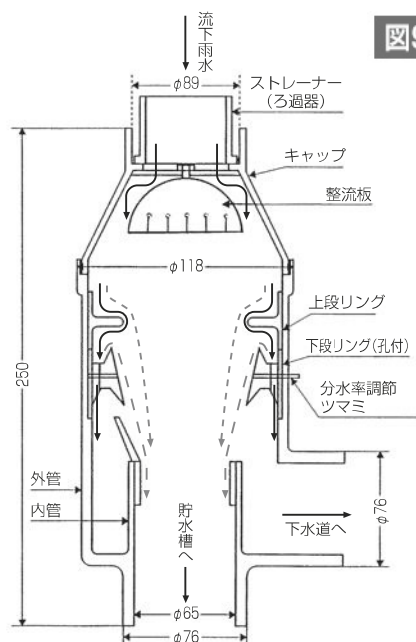


図9

(3) 分水率の調節

本体壁面に出ている「つまみ」を左右に動かすことによって分水率を変えることができます。(図10, 図11)

- ① 目盛を左端の0に合せるとほぼ全量の雨がタンクに流入します。



汚れた初期雨水もすべていっしょに流入します。

- ② 目盛を1、2、3と右へ移動するにしたがって分流率が大きくなり、汚れた初期雨水を除去する効果が高まります。



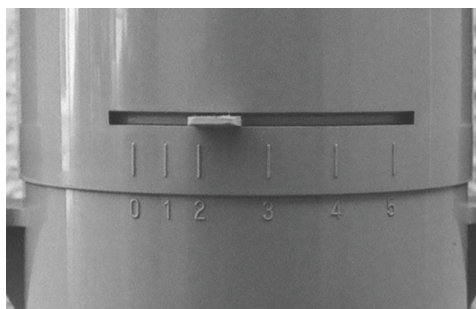
タンクへの雨水の流入速度が多少遅くなります。

- ③ 通常は最初、2～3に合せ、日々このシステムを利用して行く中で、最適と思う数値に設定することをおすすめします。

図10



図11



[製造・発売元]



株式会社トータツプラス

TOTETSU-PLUS CO., LTD.

<https://www.totetsu-plus.co.jp/>